

# 2025年度

## シラバス(授業内容)

昼間部1年

観光総合科 観光ビジネスコース  
トラベル・エアポート専攻  
ホテル専攻

### 1. シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。

当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

### 2. 科目編成（カリキュラム）の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

(1) 共通科目：人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付けること科目構成です。

(2) 専門科目：各科各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

# 2025年度 昼間部 1年 観光総合科

## 進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業基準 単位	
		前期	後期	前期	後期		
必修	共通科目	20	20	20	20	80	
	専門科目	トラベル専攻	8	10	10	8	28
		ホテル専攻	8	10	8	10	
合計	トラベル専攻	28	30	30	28	116	
	ホテル専攻	28	30	28	30		

各期全単位を取得すること

## 履修科目・単位一覧 (トラベル専攻)

		1 年前期			1 年後期			2 年前期			2 年後期								
		種別	単位	時数	種別	単位	時数	種別	単位	時数	種別	単位	時数						
共通科目	日本の観光資源研究 I	演	2	30	PC スキル I	演	2	30	PC スキル II	演	2	30	日本の観光資源研究 II	演	2	30			
	チームワークビルディング I	演	2	30	チームワークビルディング II	演	2	30	チームワークビルディング III	演	2	30	チームワークビルディング IV	演	2	30			
	ホスピタリティマインド I	講	2	30	ホスピタリティマインド II	講	2	30	国際観光文化研究	演	2	30	レクリエーション	演	2	30			
	サービス業概論	講	2	30	ビジネスマナー I	講	2	30	ビジネスマナー II	講	2	30	マネジメント	講	2	30			
	English For Hospitality I	講	2	30	English For Hospitality II	講	2	30	English For Hospitality III	講	2	30	English For Hospitality IV	講	2	30			
	日本文化	講	2	30	メンタルウェルネス	演	2	30	コミュニケーション力開発	演	2	30	マーケティング	講	2	30			
	聴解発音演習 I	演	2	30	聴解発音演習 II	演	2	30	聴解発音演習 III	演	2	30	聴解発音演習 IV	演	2	30			
	日本語 I	講	2	30	日本語 II	講	2	30	日本語 III	講	2	30	日本語 IV	講	2	30			
	就職進路ガイド I	講	2	30	就職進路ガイド II	講	2	30	就職進路ガイド III	講	2	30	ユニバーサルサービス	演	2	30			
	観光地理 I	講	2	30	観光地理 II	講	2	30	フィジカルウェルネス I	演	2	30	フィジカルウェルネス II	演	2	30			
小計			20	300	小計			20	300	小計			20	300	小計			20	300
専門科目	国内実務 I	講	2	30	国内実務 II	講	2	30	空港旅客サービス	講	2	30	ツアーセールス(行法 約款含)	講	2	30			
	国際旅行実務 I	講	2	30	海外地理 I	講	2	30	海外地理 II	講	2	30	ツアープランニング	演	2	30			
	エアポートビジネス I	講	2	30	国際旅行実務 II	講	2	30	アマデウス II	演	2	30	ホテルサービス演習	演	2	30			
	旅行総論	演	2	30	エアポートビジネス II	講	2	30	アマデウス I	演	2	30	観光歴史	講	2	30			
					アマデウス I	演	2	30	添乗業務実務	講	2	30	世界の料理	講	2	30			
小計			8	120	小計			10	150	小計			10	150	小計			8	120
合計	1 年前期合計		28	420	1 年後期合計		30	450	2 年前期合計		30	450	2 年後期合計		28	420			
	1 年次 合計単位						58	870	2 年次 合計単位						58	870			
	2 年間 合計単位数														116	1740			

## 履修科目・単位一覧 〈ホテル専攻〉

	1 年前期				1 年後期				2 年前期				2 年後期				
	種別	単位	時間数	種別	単位	時間数	種別	単位	時間数	種別	単位	時間数	種別	単位	時間数		
必修科目	共通科目	日本の観光資源研究 I	演	2	30	PC スキル I	演	2	30	PC スキル II	演	2	30	日本の観光資源研究 II	演	2	30
		チームワークビルディング I	演	2	30	チームワークビルディング II	演	2	30	チームワークビルディング III	演	2	30	チームワークビルディング IV	演	2	30
		ホスピタリティマインド I	講	2	30	ホスピタリティマインド II	講	2	30	国際観光文化研究	演	2	30	レクリエーション	演	2	30
		サービス業概論	講	2	30	ビジネスマナー I	講	2	30	ビジネスマナー II	講	2	30	マネジメント	講	2	30
		English For Hospitality I	講	2	30	English For Hospitality II	講	2	30	English For Hospitality III	講	2	30	English For Hospitality IV	講	2	30
		日本文化	講	2	30	メンタルウェルネス	演	2	30	コミュニケーション開発	演	2	30	マーケティング	講	2	30
		聴解発音演習 I	演	2	30	聴解発音演習 II	演	2	30	聴解発音演習 III	演	2	30	聴解発音演習 IV	演	2	30
		日本語 I	講	2	30	日本語 II	講	2	30	日本語 III	講	2	30	日本語 IV	講	2	30
		就職進路ガイド I	講	2	30	就職進路ガイド II	講	2	30	就職進路ガイド III	講	2	30	ユニバーサルサービス	演	2	30
		観光地理 I	講	2	30	観光地理 II	講	2	30	フィジカルウェルネス I	演	2	30	フィジカルウェルネス II	演	2	30
小計		20	300	小計		20	300	小計		20	300	小計		20	300		
専攻科目	専攻科目	業界人育成講座 I	講	2	30	業界人育成講座 II	講	2	30					国際旅行実務	講	2	30
		ホテル総論	講	2	30	企業研究 I	講・演	2	30	企業研究 II	講・演	2	30	観光歴史	講	2	30
		観光業解説	講	2	30	料理解説 I	講	2	30	料理解説 II	講	2	30	観光ビジネス理解	講	2	30
						F&B オペレーション I	演	2	30	F&B オペレーション II	演	2	30	F&B オペレーション III	演	2	30
		ホテル・サービス実務 I	講・演	2	30	ホテル・サービス実務 II	講・演	2	30	飲料講座 I	演	2	30	飲料講座 II	演	2	30
		小計		8	120	小計		10	150	小計		8	120	小計		10	150
合計	1 年前期合計		28	420	1 年後期合計		30	450	2 年前期合計		28	420	2 年後期合計		30	450	
	1 年次 合計単位						58	870	2 年次 合計単位						58	870	
	2 年間 合計単位数														116	1740	

共通科目

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	日本の観光資源研究 I			科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻			授業形式	演習
実施期	1 年 前期	単位数	前期 : 2 単位	時間数	前期 : 30 時間
担当	講師名 : 観光総合科担任				
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	実務経験内容 : 旅行業界・ホテル業界			
授業概要	実際に日本の観光地を訪れ、日本のホテル・旅館に宿泊し日本のおもてなしなどを学ぶ。				
到達目標	日本の観光を理解し、今後 2 年間の学習意欲を高める。				
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称 :				
教科書 教材	無				
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の観光地の学習。</li> <li>・実際に観光地を訪れ、講義では得られない体験する。</li> </ul>				
成績評価 方法	参加姿勢と出席状況で判断する。				
成績評価 基準	A : 評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B : 評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C : 評価試験 50%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D : 評価試験 50%未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

25年度シラバス（授業計画）

科目名	チームワークビルディングⅠ・Ⅱ		科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻		授業形式	
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	講師名：観光総合科担任			
	実務経験：有・無	実務経験内容：		
授業概要	目標を達成するためチームメンバーで協働する力を鍛えます。			
到達目標	TPOに応じた「方法」、「態度」、「服装」等の使い分けができるようになる。 ・就職活動を通して、キャリアビジョンを描けるようになる。			
検定資格	なし・必修・任意 名称：			
教科書 教材	無			
授業計画	1「学生生活」について考える	1「就職活動」について考える		
	2「学生生活」について考える	2「就職活動」について考える		
	3「学生生活」について考える	3「就職活動」について考える		
	4「学生生活」について考える	4「就職活動」について考える		
	5「学生生活」について考える	5「就職活動」について考える		
	6「学生生活」について考える	6「社会人としての心構え」について考える。		
	7「学生生活」について考える	7「社会人としての心構え」について考える。		
	8「学生生活」について考える	8「社会人としての心構え」について考える。		
	9「学生生活」について考える	9「社会人としての心構え」について考える。		
	10「学生生活」について考える	10「社会人としての心構え」について考える。		
	11「就職活動」について考える	11「社会人としての心構え」について考える。		
	12「就職活動」について考える	12「社会人としての心構え」について考える。		
	13「就職活動」について考える	13「社会人としての心構え」について考える。		
	14「就職活動」について考える	14「社会人としての心構え」について考える。		
	15「就職活動」について考える	15「社会人としての心構え」について考える。		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験90%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験80%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験50%以上、出席率50%以上、平常点 可 D：評価試験50%未満、出席率50%未満、平常点 不可			

25 年度シラバス (授業計画)

科目名	ホスピタリティマインド I・II		科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻		授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期 : 2 単位 後期 : 2 単位	時間数 前期 : 30 時間 後期 : 30 時間
担当	講師名: 井部 有美子			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容: 国内航空会社に GS として勤務主に接客業務に従事		
授業概要	豊かな人間関係構築のために、ホスピタリティマインドの必要性、知識を学びます。 相手を受け容れ理解し、相手の立場に立って行動するためには、まず、自分自身を正しく知ることが大切です。さまざまなカリキュラムにより自己理解を深め、自己改善を図ることで「なりたい自分」に近づくこと、さらに相手を慮り、自らホスピタリティを発揮することができる人材の育成を目指します。			
到達目標	ホスピタリティマインドの基礎知識の定着、および相手を理解・共感しホスピタリティを実践できる人間力の形成。自己分析により自分を正しく知り、なりたい自分を明確化し、PR する力の修養			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ <input type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 任意 名称:			
教科書 教材	なし			
授業計画	1 授業概要	1 未来をデザインする ホスピタリティ産業への挑戦 (企業研究)		
	2 ホスピタリティの定義	2 未来をデザインする ホスピタリティ産業への挑戦 (企業研究)		
	3 ホスピタリティ産業が求める人材像	3 未来をデザインする ホスピタリティ産業への挑戦 (企業研究)		
	4 日本のホスピタリティを探る	4 発見と未来を語るプレゼンテーション		
	5 日本のホスピタリティを探る	5 発見と未来を語るプレゼンテーション		
	6 ロイヤルカスタマーをつくるために	6 DVD 鑑賞 (おもてなしの心)		
	7 世界に通じるマナーを身につける	7 ホスピタリティマインドを持った人生態度を確立しよう		
	8 ホスピタリティ・エチケットとエレガンス	8 ホスピタリティマインドを持った人生態度を確立しよう		
	9 異文化理解とホスピタリティ	9 ホスピタリティマインドのある聴き方		
	10 ポジティブに問題の枠組みを変える	10 ホスピタリティマインドのある聴き方		
	11 STAR 方法で自己分析	11 さわやかに自己表現しよう (アサーション)		
	12 STAR 方法で自己分析	12 企業でのアサーション		
	13 ホスピタリティの未来を描く私の自己 PR	13 顧客対応力の向上 (クレームに対応する)		
	14 ホスピタリティの未来を描く私の自己 PR	14 顧客対応力の向上 (クレームに対応する)		
	15 グローバルな視点での挑戦と成長を語る自己 PR の発表	15 未来のホスピタリティ業界に向けたビジョンの発表		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A : 評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B : 評価試験 60%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C : 評価試験 40%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D : 評価試験 40%未満、出席率 50%未満、平常点 不可			

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	サービス業概論		科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻		授業形式	講義
実施期	1年 前期	単位数	前期：2単位	時間数
担当	講師名：松橋 功			
	実務経験：有 無	実務経験内容：イベント企画などを行う		
授業概要	観光業はサービス業です。そこでサービス業で大切な心構えからイベント企画などまでを学びます。また実践できた接客や対応などを情報共有します。			
到達目標	学んだおもてなしなどの実践し、情報共有し日本の接客を理解します。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材				
授業計画	1 サービスとは何か			
	2 サービスとは何か			
	3 サービス業の範囲			
	4 サービスの4つの特徴			
	5 サービスの4つの特徴			
	6 「サービス」、「ホスピタリティ」、「おもてなし」の違いと共通点			
	7 「サービス」、「ホスピタリティ」、「おもてなし」の違いと共通点			
	8 「おもてなし」の元祖、千利休にたちかえる			
	9 「おもてなし」の元祖、千利休にたちかえる			
	10 サービススクリプト			
	11 サービススクリプト			
	12 サービスコスト			
	13 サービスコスト			
	14 サービス需給マネジメント			
	15 サービス需給マネジメント			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%未満、出席率 89%未満、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 50%未満、平常点 不可			

25 年度シラバス (授業計画)

科目名	English for Hospitality I・II		科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻		授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期 : 2単位 後期 : 2単位	時間数 前期 : 30時間 後期 : 30時間
担当	講師名 : 各担当講師 Level Basic1・2、Middle、Advance 1・2			
	実務経験 : 有・無	実務経験内容 :		
授業概要	この授業では、旅行やホテルの現場で使用する英語を学びます。 語句やフレーズ、基礎の文法、短い英作文、聴解、発音、会話など、幅広く学習します。			
到達目標	平易な表現であれば、書くことができ、口頭で伝えることができる。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称 :			
教科書 教材	English for Hospitality			
授業計画	<p>Sel f Introduction</p> <p>Tour Guide English</p> <p>Hotel English</p> <p>Airport English</p> <p>Tourist English</p> <p>Learning English for the tourism industry at various levels of proficiency.</p>			
成績評価 方法	平常点、出席率を評価し、期末試験の理解度を合わせて総合的に評価する。			
成績評価 基準	<p>A : 評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優</p> <p>B : 評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良</p> <p>C : 評価試験 30%以上、出席率 50%以上、平常点 可</p> <p>D : 評価試験 30%未満、出席率 50%未満、平常点 不可</p>			

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	日本文化			科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻			授業形式	講義
実施期	1 年 前期	単位数	前期 : 2 単位	時間数	前期 : 30 時間
担当	講師名：黒山 亮二				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	実務経験内容：旅行会社で企画旅行の企画・手配を担当している。			
授業概要	観光産業で仕事をするために必要な日本文化の知識を学習します。				
到達目標	日本の地理、歴史と連動した日本文化の基礎				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	プリントを配布します。				
授業計画	1 お伽話				
	2 日本の歴史				
	3 相撲				
	4 芸者				
	5 伝統芸能 歌舞伎				
	6 寿司と魚				
	7 気になる日本語				
	8 日本の宗教 1				
	9 日本の宗教 2				
	10 年中行事				
	11 大衆演芸				
	12 食				
	13 復習・まとめ				
	14 期末試験				
	15 試験返却・解答				
成績評価 方法	学期末に評価試験、出席状況、授業への参加意欲を総合して評価。				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 30%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 30%未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	聴解発音演習 I・II		科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻		授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	講師名：各担当講師			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：日本語学校での教務経験		
授業概要	面接時に明瞭な日本語が話せるよう発音・発声を強化します。発音を中心に会話力・聴解力も鍛えます。			
到達目標	聞き取りやすい発音・話し方ができ、相手の話の耳を傾け対応できる力。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 任意 名称：			
教科書 教材	各講師がクラスのレベルに合わせて、その都度プリントを配布			
授業計画	<p><b>【前期】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発音基礎の見直し</li> </ul> <p>日本語の音・アクセント・イントネーションなどを基礎から見直し、発音を矯正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本敬語で発音を鍛える</li> </ul> <p>基礎的な敬語を使ったダイアログなどを題材に、シャドーイングや音読をすることで、発音を鍛えると同時に敬語の感覚を体に覚えさせます。</p> <p><b>【後期】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シーン別で発音を鍛える</li> </ul> <p>日常にある様々なシーンを題材に、ロールプレイなどでアウトプットを行うことによって、発音を鍛えるだけでなく自然な日本語も身に付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムで発音を鍛える</li> </ul> <p>日本語の詩や歌などを題材に発音を強化し、日本語のリズムも身に付けます。</p>			
成績評価 方法	<p>学期末には評価試験を行う。評価試験・出席状況・授業参加意欲で総合評価を判断する。</p> <p>評価試験を欠席した場合は0点として取り扱う。</p>			
成績評価 基準	<p>A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優</p> <p>B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良</p> <p>C：評価試験 30%以上、出席率 50%以上、平常点 可</p> <p>D：評価試験 30%未満、出席率 50%未満、平常点 不可</p>			

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	日本語 I・II		科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻		授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	講師名：各担当講師			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：日本語学校での教務経験		
授業概要	就職活動時に役立つ日本語力を強化します。正確な情報を収集するための読解力と自分を表現するための書く力を鍛えます。			
到達目標	就職情報を正確に集められる読解力。自分の発想・意図を正確に伝えられる文章力。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 任意 名称：			
教科書 教材	各講師がクラスのレベルに合わせて、その都度プリントを配布			
授業計画	<p><b>【前期】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集能力の強化</li> </ul> <p>日常生活で触れる様々なパターンの文章を多読することで、読解力を上げ、正確に情報収集できる 能力を身に付けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作文能力の強化</li> </ul> <p>基本的な文法事項などから日本語の基礎を見直し、読み手に正確に伝わる文章を書けるように指導します。</p> <p><b>【後期】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表記</li> </ul> <p>留学生向けの漢字教材から漢字を学ぶだけでなく、生活に役立つ漢字語彙力を強化し、正確で読みやすい字が書けるように指導します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙/表現</li> </ul> <p>ニュースなどの素材から語彙や慣用表現などを学び、より自然で伝わりやすい日本語を身に付けます。</p>			
成績評価 方法	<p>学期末には評価試験を行う。評価試験・出席状況・授業参加意欲で総合評価を判断する。</p> <p>評価試験を欠席した場合は0点として取り扱う。</p>			
成績評価 基準	<p>A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優</p> <p>B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良</p> <p>C：評価試験 30%以上、出席率 50%以上、平常点 可</p> <p>D：評価試験 30%未満、出席率 50%未満、平常点 不可</p>			

25 年度シラバス (授業計画)

科目名	就職進路ガイド I・II		科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻		授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期 : 2単位 後期 : 2単位	時間数 前期 : 30時間 後期 : 30時間
担当	講師名 : 観光総合科担任			
	実務経験 : 有・無	実務経験内容 :		
授業概要	留学生が日本で就職活動を行うにあたり、日本の社会環境や情勢・また日本独特の「就職活動」を学びます。必要な将来に必要なキャリアプランを描くための自己分析を作るためにワークを行います。			
到達目標				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称 :			
教科書 教材	履歴書に記載できる自己PRのベースを作成できるようにする。 自己分析を行い、自身のキャリアプランを描けるようにする。			
授業計画	1 日本で就職すること	1 就職活動とは		
	2 キャリアを考える	2 大切な心構え		
	3 自己分析	3 身だしなみについて		
	4 自己分析	4 就職活動ルール		
	5 自分史	5 履歴書について		
	6 ジョハリの窓	6 履歴書について		
	7 ジョハリの窓	7 面接練習		
	8 就職活動のスケジュール	8 面接練習		
	9 自己PRの準備	9 面接練習		
	10 自己PRの準備	10 自己PRの作成		
	11 自己PRの準備	11 自己PRの作成		
	12 志望動機の準備	12 自己PRの作成		
	13 志望動機の準備	13 志望動機の作成		
	14 企業の見方	14 志望動機の作成		
	15 企業の見方	15 志望動機の作成		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A : 評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B : 評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C : 評価試験 50%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D : 評価試験 50%未満、出席率 50%未満、平常点 不可			

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	観光地理 I・II		科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻		授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	講師名：丸岡 伸久			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：旅行会社にて海外、国内旅行の企画・手配・販売（40年程度）の経験あり。現在も旅行業務継続中。		
授業概要	日本国内の主要な観光地の所在地、特色を勉強する。テキストと写真や動画も利用することで、理解を深める。また、鉄道路線や高速道路網、空港なども知ること、観光地へのアクセスも覚える。			
到達目標	観光業界および関連業界で仕事をする際に、観光地の見所やアクセスを案内できるレベルを目指す。			
検定資格	なし・必修・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：旅程管理者			
教科書 教材	教科書は不要。テキストを授業ごとに用意する。			
授業計画	1 日本の地理：島、山脈、海など	1 中部地方(1)：中部山岳の観光地		
	2 交通：鉄道（新幹線）、高速道路、空港など	2 中部地方(2)：北陸地方の観光地		
	3 北海道(1)：南部北海道の観光地	3 中部地方(3)：東海地方の観光地		
	4 北海道(2)：中央部・東部・北部の観光地	4 近畿地方(1)：奈良と京都以外の観光地		
	5 東北地方(1)：北部の観光地	5 近畿地方(2)：奈良と京都の観光地		
	6 東北地方(2)：南部の観光地	6 中国地方(1)：中国地方5県の観光地		
	7 関東地方(1)：北関東の観光地	7 四国地方(1)：四国4県の観光地		
	8 関東地方(2)：南関東の観光地①	8 九州地方(1)：北部九州の観光地		
	9 関東地方(3)：南関東の観光地②	9 九州地方(2)：南部九州と沖縄の観光地		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく。			
成績評価 基準	A：評価試験 85 点以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 75 点以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40 点以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 40 点未満、出席率 50%未満、平常点 不可			

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	PC スキル I		科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻		授業形式	講義・実習
実施期	1 年 後期	単位数	前期：2 単位	時間数
担当	講師名：荒岡 拓弥			
	実務経験：有	実務経験内容：エコノミストとして経済分析に Excel、論文に Word、講演に PPT を実務経験。		
授業概要	前半では、日本語アプリの基礎である Word による日本語入力演習を進めながら、業務用レターを始めとするビジネス文書の作成演習を行う。後半では、表やグラフ、画像などのビジュアル・データを利用した文書の作成に取組み、ホスピタリティ・マインドとの連携によるパワーポイントスライド作成演習の準備も進める。			
到達目標	情報処理検定（ワープロ文書）3 級レベル			
検定資格	任意 名称：日本情報処理検定協会（日本語ワープロ検定）			
教科書 教材	オリジナル教材のコピーを配布			
授業計画	1 ITHB パソコンと日本語 Word の基本操作（入力キー、操作キーの確認と演習）			
	2 文字入力演習（ひらかな、カタカナ、漢字、英数字）			
	3 記号・絵文字入力演習			
	4 文字・記号混在文作成演習			
	5 短文・長文入力演習			
	6 ビジネス文書作成演習（日付の入力、挨拶文挿入、記書きなど）			
	7 ビジネス文書作成演習（均等割り付け、箇条書き、段落記号、インデントの利用など）			
	8 ビジネス文書作成演習（表・罫線、グラフの利用など）			
	9 ビジネス文書作成演習（図形、ワードアート、画像などビジュアル・データの利用）			
	10 文書の編集（タブ揃え、ルーラー、ヘッダー・フッターなどの利用）			
	11 販促チラシの作成演習			
	12 観光地ポスターの作成演習			
	13 観光（ホテル）案内リーフレットの作成演習			
	14 パワーポイントの特徴と初期設定（スライドの種類、ペイン操作上の留意点など）			
	15 パワーポイントの利用法（表、グラフ、スマートアート、画像、動画、音楽の挿入など）			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点優 B：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点良 C：評価試験 30%以上、出席率 50%以上、平常点可 D：出席率 50%未満、平常点不可			

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	ビジネスマナー I（1年生）		科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻		授業形式	講義
実施期	1年 後期	単位数	前期：2単位	時間数
担当	講師名：高橋 清美			
	実務経験：有・無	実務経験内容：講師歴10年・元テレビ静岡アナウンサー		
授業概要				
到達目標				
検定資格	なし・必修・任意 名称：なし。			
教科書 教材				
授業計画	1、メラビアンの法則、あなたのチャームポイントを見つける。			
	2、自分の名前の由来トーク。日本の季節の行事。			
	3、椅子の座り方。一人ずつチェック実技トレーニング。			
	4、名刺交換の仕方、実業之日本社。			
	5、日本のお茶のマナー、出し方、いれかた、いただき方。			
	6、席次のマナー。お部屋、エレベーター、廊下や階段			
	7、お箸のマナー、使い方やNGを学ぶ。			
	8、敬語トレーニング。			
	9、訪問のマナー。コートのたたみ方、お土産について考える。			
	10、日本の「ことわざを知ろう特集」意味を知る。			
	11、食事のマナー（洋食編）			
	12、物の渡し方、実技トレーニング。			
	13「寿限無」とは？長い名前の意味と滑舌練習			
	14、12干支の話、日本のお正月のこと			
	15、「あなたがこの一年で頑張ってきた事のトーク。結論→時期→目的→手段→変化。			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験60%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験30%以上、出席率50%以上、平常点 可 D：評価試験30%未満、出席率50%未満、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	メンタルウェルネス		科目区分	共通科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート/ホテル専攻		授業形式	講義
実施期	1年 後期	単位数	後期：2単位	時間数
担当	講師名：住友 大我			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容： トレーナー業、トレーナー育成業を中心に約20年の実務経験があります。		
授業概要	心身ともに健康な状態で社会人として長く活躍できるよう、ビジョントレーニング、メンタルトレーニングを中心とした脳の働き（脳力）を高める方法を学びます。			
到達目標	緊張からリラックス・集中への反射を形成する、ストレス耐性を高める、モチベーションを高める、発想力を高める、ポジティブシンキングを身に付けるなどの内容を、脳の働き（脳力）にもとづいて理解する。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：メンタルウェルネストレーニング基礎課程			
教科書 教材	授業用教材セット 3,080円（税込）			
授業計画	1. 明るく肯定的な意識を高める（満足感）、エゴグラム、脳活ドリル、高速学習			
	2. 明るく肯定的な意識を高める（期待感）、エゴグラム、脳活ドリル、高速学習			
	3. 明るく肯定的な意識を高める（まとめ）、目標設定、脳活ドリル、高速学習			
	4. 目覚めのコントロール、両眼視（眼球運動）、脳活ドリル、高速学習			
	5. 段階的リラクゼーション法（緊張からリラックスへの反射形成）、論理的思考、脳活ドリル、高速学習			
	6. 自律訓練法（リラックスした集中への反射形成）、両眼視（ピント合わせ）、脳活ドリル、高速学習			
	7. プラシーボ効果、論理的思考、脳活ドリル、高速学習			
	8. 夢のコントロール、両眼視（両眼のチームワーク）、脳活ドリル、高速学習			
	9. 思い方の練習（睡眠、起床、食事）、感覚統合、脳活ドリル、高速学習			
	10. 呼吸法、眼と手の協調性、脳活ドリル、高速学習			
	11. 汎化の形成、視覚思考、脳活ドリル、高速学習			
	12. イメージトレーニング、空間認識、脳活ドリル、高速学習			
	13. メンタルウェルネストレーニング基礎課程修了試験、脳活ドリル、高速学習			
	14. 自動思考による推論の誤り、論理的思考、脳活ドリル、高速学習			
	15. マインドセット、図と地の分化、脳活ドリル、高速学習			
成績評価 方法	出席率と平常点（提出物・授業態度など）の組み合わせで評価します。詳細は初回授業で説明します。			
成績評価 基準	(出席率) A：85%以上、B：65%以上、C：50%以上、D：50%未満 (平常点) A：優、B：良、C：可、D：不可 (総合評価) 出席率/平常点 A：A/A、A/B B：A/C、B/A、B/B C：B/C、C/A、C/B、C/C D：出席率もしくは平常点がD			

専門科目

トラベル・エアポート専攻

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	国内実務 I・II		科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート専攻		授業形式	講習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	講師名： 矢野和志			
	実務経験： 有	実務経験内容：旅行会社で企画旅行の企画・手配を担当している。BTM (Business Travel Management) や一般旅行業務で 15 年勤務、主に国際航空券発券業務に携わる。		
授業概要	スマートフォンなど便利な端末があるが、お客様を前で調べることはできません。しかし、時代の流れもあるので、スマートフォンで料金を確認したり、JR 時刻表などを使い運賃・料金を算出したり、国内航空運賃を計算したり、宿泊料金など計算できるようにする。同時に日本の地理も身に付ける。			
到達目標	運賃料金、宿泊料金などの基礎的知識等を身に付ける。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書教材	JR 時刻表、適宜プリントや PDF など			
授業計画	1 成績評価説明、Google classroom 登録、JR 時刻表の基本	1 国内航空運賃・料金の基本知識		
	2 スマートフォンなどを使い、日本の地理などを確認し覚える	2 割引運賃・旅客施設使用料等		
	3 JR 時刻表を使い、基本的な知識（幹線と地方交通線）、新幹線と在来線を知る	3 航空券予約、取り消し、払い戻し		
	4 急行列車・普通列車、旅客運賃と料金、小児運賃・料金等	4 日本国内の主な空港コード等		
	5 運賃計算の基本、計算に使用する距離、片道運賃	5 国内運賃演習		
	6 前回の復習、本州 3 社と 3 島連続乗車運賃	6 宿泊料金、貸切バス・フェリーの運賃・料金		
	7 営業扣等の通算原則、通貨連絡運輸、演習	7 先週の復習と演習		
	8 運賃計算の特例、山手線愛発着特例、その他特例	8 日本の都市と位置を知る		
	9 個人の割引運賃、料金の基本知識、新幹線	9 国内旅行プランニング		
	10 急行・座席指定・グリーン・寝台料金、料金の通算	10 日本の城、日本の世界遺産		
	11 料金を通算できない特例	11 日本の城、日本の世界遺産		
	12 乗継割引、団体旅客取扱い	12 日本の城、日本の世界遺産		
	13 乗車券の取り扱い	13 日本の城、日本の世界遺産		
	14 期末試験	14 期末試験		
	15 期末試験、振り返り	15 期末試験、振り返り		
成績評価方法	出席率、宿題、期末試験、平常点の総合評価で判断します。判断内訳は、①授業理解度（宿題・期末試験の点数） $100 \times 0.8 + \text{平常点 } 20 \text{ 点（日々の平均）} = 100$ とし判断。			
成績評価基準	A：授業理解度 80 点以上、出席率 90%以上、平常点（授業参加度+提出物）15 点以上 B：授業理解度 70 点以上、出席率 80%以上、平常点（授業参加度+提出物）10 点以上 C：授業理解度 40 点以上、出席率 50%以上、平常点（授業参加度+提出物）5 点以上 D：授業理解度 39 点以下、出席率 49%以下 平常点（授業参加度+提出物）5 点以下			

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	国際旅行実務Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート専攻			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	講師名：黒山 亮二				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	実務経験内容：旅行会社で企画旅行の企画・手配を担当している。			
授業概要	海外旅行の様々な商品とその手配方法を学習します。				
到達目標	海外旅行を取り扱うための必要な基礎知識の習得。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	プリントを配布します。				
授業計画	1 旅行業、流通、カタカナ	1 航空予約1			
	2 各種旅行素材1	2 航空予約2			
	3 各種旅行素材2	3 航空予約3			
	4 各種旅行素材3	4 航空予約4			
	5 エアライン1	5 運賃表			
	6 エアライン2	6 運賃計算1			
	7 空港	7 運賃計算2			
	8 航空機	8 運賃計算3			
	9 航空券・運賃1	9 運賃計算4			
	10 航空券・運賃2	10 格安航空券、流通			
	11 航空券・運賃3	11 旅行計画1			
	12 航空券・運賃4	12 旅行計画2			
	13 復習・まとめ	13 復習・まとめ			
	14 期末試験	14 期末試験			
	15 試験返却・解答	15 試験返却・解答			
成績評価 方法	学期末に評価試験、出席状況、授業への参加意欲を総合して評価。				
成績評価 基準	A：評価試験80%以上、出席率80%以上、平常点 優 B：評価試験60%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験30%以上、出席率50%以上、平常点 可 D：評価試験30%未満、出席率50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	エアポートビジネスⅠ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート専攻		授業形式	講義・演習
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	講師名：古宮 綾佳			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：空港の旅行会社カウンターでの業務経験あり		
授業概要	航空業界の基礎的な知識の習得を目的として、空港内の職業や航空会社、主要空港について学ぶ。空港カウンターでの仕事をイメージするため、チェックインカウンターでのロールプレイを実施。			
到達目標	航空業界の基礎的な知識を身に付け、空港での仕事の内容を把握することで、将来空港の仕事で働く事をより具体的にイメージする。			
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	講師作成プリント配布			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の目的、通話用語</li> <li>2. 航空業界の仕事について①接客部門</li> <li>3. 航空業界の仕事について②貨物部門</li> <li>4. JALとANA</li> <li>5. 日本の航空会社について</li> <li>6. 成田空港と羽田空港</li> <li>7. 世界のエアライン・エアポート</li> <li>8. 空港C I Q①（出国手続き）</li> <li>9. 空港C I Q②（入国手続き）</li> <li>10. 空港カウンターでのご案内のポイント</li> <li>11. チェックインカウンター ロールプレイ①</li> <li>12. チェックインカウンター ロールプレイ②</li> <li>13. シートアサイン、ルーミングリストの見方</li> <li>14. 期末試験</li> <li>15. 期末試験答案返却・解説</li> </ol> <p>※授業の内容、順番は変更となることがあります</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前期の復習、通話用語テスト</li> <li>2. 空港の接客について（身だしなみ）</li> <li>3. 空港の接客について（立ち居振る舞い、敬語）</li> <li>4. 空港アナウンス①</li> <li>5. 空港アナウンス②</li> <li>6. 空港スタッフの1日①接客部門</li> <li>7. 空港スタッフの1日②貨物部門</li> <li>8. 航空業界用語①</li> <li>9. 航空業界用語②</li> <li>10. 航空業界用語クイズ（実践的な使い方）</li> <li>11. フライトモニターの見方</li> <li>12. 航空機事故について</li> <li>13. 航空法－機内迷惑行為について</li> <li>14. 期末試験</li> <li>15. 期末試験答案返却・解説</li> </ol> <p>※授業の内容、順番は変更になることがあります。</p>		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 30%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 29%未満、出席率 49%未満、平常点 不可			

25 年度シラバス (授業計画)

科目名	旅行総論			科目区分	専門科目																
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート専攻			授業形式	講義																
実施期	1年 前期	単位数	前期 : 2単位	時間数	前期 : 30時間																
担当	講師名 : 高橋一男																				
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	旅行・観光業界																			
授業概要	旅行・観光に関する基本的な業務、仕組みを習得する																				
到達目標	基本的な業務知識を身につけ旅行・観光業界にて実践できるようにする																				
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称 :																				
教科書 教材	J R時刻表																				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宿泊施設や観光施設などから旅行や観光の仕組みを学ぶ</li> <li>2. 基本的な旅行業務を実践し、さまざまな旅行や観光のトラベルプラン等を作成する</li> <li>3. 旅行の種類などパンフレットや観光地理などから魅力的な旅行を企画する</li> <li>4. 海外旅行の基本的な仕組みを学びながら企画書等を作成する</li> <li>5. インバウンド旅行の業務を学ぶ</li> <li>6. 旅行に付随する業務を学ぶ</li> </ol>																				
成績評価 方法	学期末には評価試験を行う。また出席状況、授業参加意欲をもとに評価にする。評価試験を欠席した場合は D 評価として取り扱う。																				
成績評価 基準	<table border="0"> <tr> <td>A : 評価試験 (理解度) 80%以上</td> <td>出席率90%以上</td> <td>平常点</td> <td>優</td> </tr> <tr> <td>B : 評価試験 (理解度) 60%以上</td> <td>出席率70%以上</td> <td>平常点</td> <td>良</td> </tr> <tr> <td>C : 評価試験 (理解度) 30%以上</td> <td>出席率50%以上</td> <td>平常点</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>D : 評価試験 (理解度) 30%未満</td> <td>出席率50%未満</td> <td>平常点</td> <td>不良</td> </tr> </table>					A : 評価試験 (理解度) 80%以上	出席率90%以上	平常点	優	B : 評価試験 (理解度) 60%以上	出席率70%以上	平常点	良	C : 評価試験 (理解度) 30%以上	出席率50%以上	平常点	可	D : 評価試験 (理解度) 30%未満	出席率50%未満	平常点	不良
A : 評価試験 (理解度) 80%以上	出席率90%以上	平常点	優																		
B : 評価試験 (理解度) 60%以上	出席率70%以上	平常点	良																		
C : 評価試験 (理解度) 30%以上	出席率50%以上	平常点	可																		
D : 評価試験 (理解度) 30%未満	出席率50%未満	平常点	不良																		

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	海外地理 I			科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート専攻			授業形式	講義
実施期	1年 後期	単位数	後期 : 2 単位	時間数	後期 : 30 時間
担当	講師名：黒山 亮二				
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	実務経験内容：旅行会社で企画旅行の企画・手配を担当している。			
授業概要	外の主な観光地を学習します。 テキストで講義をし、画像、動画などを見て理解を深める。				
到達目標	観光業界で働く際に必要な海外主要観光地の所在地、特色などを習得する。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	プリントを配布します。地図帳を使用します。				
授業計画	1 世界地図、国名、地域理解				
	2 ヨーロッパ 1				
	3 ヨーロッパ 2				
	4 ヨーロッパ 3				
	5 ヨーロッパ 4				
	6 ヨーロッパ 5				
	7 ヨーロッパ 6				
	8 ヨーロッパ 7				
	9 アフリカ・中東 1				
	10 アフリカ・中東 2				
	11 オセアニア 1				
	12 オセアニア 2				
	13 復習・まとめ				
	14 期末試験				
	15 試験返却・解答				
成績評価 方法	学期末に評価試験、出席状況、授業への参加意欲を総合して評価。				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 30%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 30%未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス (授業計画)

科目名	アマデウス I・II		科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース トラベル・エアポート専攻		授業形式	実技
実施期	1年 後期	単位数	後期 : 2 単位	時間数
担当	講師名 : 矢野 和志			
	実務経験 : 有	実務経験内容 : 旅行会社で企画旅行の企画・手配を担当している。BTM (Business Travel Management) や一般旅行業務で 15 年勤務、主に国際航空券発券業務に携わる。		
授業概要	航空・旅行業界の予約手配において、先進の IT 技術は欠かせません。アマデウスは GDS (Global Distribution System) として、全世界の航空会社や旅行会社にとって航空券やホテルなどの旅行素材を手配するための必要不可欠なシステムとなっています。アマデウスの国際線予約システム基本操作を習得し、アマデウスシステム検定試験 Specialist 資格取得を目標とします。			
到達目標	アマデウスシステムを使用した予約記録が作成できること。 アマデウスシステム検定試験 Specialist 資格の取得。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ <u>任意</u> 名称 : アマデウスシステム検定 Specialist			
教科書 教材	Amadeus 予約ユーザーガイド PDF、アマデウス予約クイックガイド 700 円			
授業計画	1 アマデウス説明、都市・空港コード (DAN)			
	2 先週の復習、都市・空港コード (DAC,DO)			
	3 先週の復習、航空会社コード (DNA、DNE)			
	4 先週の復習、フライトインフォメーション (DO)			
	5 1-4 回の復習小テスト、最低乗継時間(MCT)			
	6 先週の復習、日付と時刻の計算 (DD)			
	7 先週の復習、ヘルプシステム (HE)			
	8 先週の復習、へボン式ローマ字			
	9 5-8 回の復習小テスト、総復習			
	10 空席照会画面説明と演習			
	11 前回の復習、空席照会オプションエントリと演習			
	12 前回の復習、空席照会後のショートカットエントリ、変更			
	13 前回の復習、2 区間空席照会と演習			
	14 期末試験			
	15 期末試験、振り返り			
成績評価 方法	出席率、中間・期末試験、平常点の総合評価で判断します。判断内訳は、①授業理解度 (中間・期末試験の点数) $100 \times 0.8 +$ 平常点 20 点 (日々の平均) とする。			
成績評価 基準	A : 授業理解度 80 点以上、出席率 90%以上、平常点 (授業参加度+提出物) 15 点以上 B : 授業理解度 70 点以上、出席率 80%以上、平常点 (授業参加度+提出物) 10 点以上 C : 授業理解度 40 点以上、出席率 50%以上、平常点 (授業参加度+提出物) 5 点以上 D : 授業理解度 39 点以下、出席率 49%以下 平常点 (授業参加度+提出物) 5 点以下			

専門科目  
ホテル専攻

25 年度シラバス (授業計画)

科目名	業界人育成講座 I・II			科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース ホテル専攻			授業形式	講義
実施期	1年 前期・後期	単位数	前期 : 2 単位 後期 : 2 単位	時間数	前期 : 30 時間 後期 : 30 時間
担当	講師名 : 職員				
	実務経験 : 有・無	実務経験内容 :			
授業概要	社会人として必要スキルや知識 (異文化適応力や、食事マナーや国際プロトコール) を学ぶ				
到達目標	社会人として、また業界人としての立ち振舞い方や接客用語を理解する。				
検定資格	なし・必修・ <u>任意</u> 名称 : グローバル人材ビジネス実務検定				
教科書 教材	オリジナル資料等使用				
授業計画	1 接遇の基本項目	1 会話の方法			
	2 接遇の基本項目	2 社会人としての心がまえ			
	3 接遇の基本項目	3 社会人としての心がまえ			
	4 接遇の基本項目	4 異文化適応力			
	5 接遇の基本項目	5 異文化適応力			
	6 接遇の基本項目	6 クレーム対応			
	7 接遇の基本項目	7 日本の贈り物のマナー			
	8 接遇の基本項目	8 冠婚葬祭			
	9 接遇の基本項目	9 各国の文化・風習・タブー			
	10 接遇の基本項目	11 ジャスチャー			
	11 話し方と聴き方	11 企業人に必要な要素			
	12 接遇の言葉遣い	12 ストレス対処			
	13 接客英語・国際プロトコール	13 食事のマナー			
	14 確認テスト	14 確認テスト			
	15 フィードバック	15 フィードバック			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A : 評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B : 評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C : 評価試験 50%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D : 評価試験 50%未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	ホテル総論			科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース ホテル専攻			授業形式	講義
実施期	1年 前期	単位数	後期：2単位	時間数	前期：30時間
担当	講師名：秋田 雅明				
	実務経験：有	ホテル勤務経験あり			
授業概要	ホテルとはどのようなもので、どんな歴史があるのか、組織や業務内容などの基本的な知識を体系的に学ぶ。また、旅館についても歴史や昨今の動向を研究し、就職へと繋げる。				
到達目標	お客様が安心してサービスを受けることが出来るようホテル業の正しい知識を持つ。				
検定資格	なし				
教科書 教材	ホテル総論（ウィネット）1,500円+税				
授業計画	1 ホテル総論について概要説明				
	2 ホテルの定義や語源 分類				
	3 ホテルの歴史 欧米と日本のホテル				
	4 ホテル産業の特徴				
	5 宿泊・料飲部門の基礎知識				
	6 課題と回答				
	7 ホテルスタッフに求められる能力				
	8 ホテル実務の基本とホスピタリティ				
	9 旅館の歴史				
	10 旅館のおもてなしサービス・老舗旅館と近年の旅館の違いを紹介				
	11 旅館の業務内容				
	12 法律・防災・食中毒・アレルギーについて				
	13 環境への配慮・スタッフのマルチタスク化				
	14 期末試験				
	15 期末試験、振り返り				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：授業理解度 80点以上、出席率 80%以上 平常点 優				
	B：授業理解度 70点以上、出席率 70%以上 平常点 良				
	C：授業理解度 50点以上、出席率 50%以上 平常点 可				
	D：授業理解度 39点以下、出席率 50%以下 平常点 不可				

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	観光業解説			科目区分	専門科目																
対象	観光総合科 観光ビジネスコース ホテル専攻			授業形式	講義																
実施期	1年 前期	単位数	前期：2単位	時間数	前期：30時間																
担当	講師名：高橋 一男																				
	実務経験：有	旅行・観光業界																			
授業概要	国内の宿泊施設、輸送機関、観光地等を知ると共に特色や魅力を学ぶ、また海外旅行の基本的な知識を学ぶ																				
到達目標	観光、旅行の楽しさを知ってもらいそれを実践に活かせるようにする																				
検定資格	なし																				
教科書 教材	なし																				
授業計画	1. 国内の観光都市や地区などの特色や魅力等を習得する																				
	2. さまざまな旅行から観光、旅行の仕組みを学び観光プラン等を作成する																				
	3. インバウンド旅行に関する知識を学ぶ																				
	4. 海外旅行の基本的な知識を学ぶ																				
	成績評価 方法	学期末には評価試験を行う。また出席状況、授業参加意欲をも評価にする。評価試験を欠席した場合は0点として取り扱う																			
成績評価 基準	<table border="0"> <tr> <td>A：評価試験（理解度）80%以上</td> <td>出席率90%以上</td> <td>平常点</td> <td>優</td> </tr> <tr> <td>B：評価試験（理解度）60%以上</td> <td>出席率70%以上</td> <td>平常点</td> <td>良</td> </tr> <tr> <td>C：評価試験（理解度）30%以上</td> <td>出席率50%以上</td> <td>平常点</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>D：評価試験（理解度）30%未満</td> <td>出席率50%未満</td> <td>平常点</td> <td>不良</td> </tr> </table>					A：評価試験（理解度）80%以上	出席率90%以上	平常点	優	B：評価試験（理解度）60%以上	出席率70%以上	平常点	良	C：評価試験（理解度）30%以上	出席率50%以上	平常点	可	D：評価試験（理解度）30%未満	出席率50%未満	平常点	不良
A：評価試験（理解度）80%以上	出席率90%以上	平常点	優																		
B：評価試験（理解度）60%以上	出席率70%以上	平常点	良																		
C：評価試験（理解度）30%以上	出席率50%以上	平常点	可																		
D：評価試験（理解度）30%未満	出席率50%未満	平常点	不良																		

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	ホテルサービス実務 I・II			科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース ホテル専攻			授業形式	講義
実施期	1年 前期 後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	講師名：田島 正治				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：国内ホテル経験あり			
授業概要	ホテルが商品として提供しているサービスとは何かを学び、現状のサービスの課題、今後の方向性を考察する。ホテルサービスを担っているホテル従業員の態度や心構え、注意すべき言動等を学び、プロ意識の醸成を図る。ホテルの組織を理解し、宿泊部門と各エリアの業務内容を通して宿泊サービスの特性を学習する。				
到達目標	ホテル従業員のあるべき態度や心構え、注意すべき言動等を学び、生徒自身の就職対策の一助とする。宿泊部門と各エリアの業務内容を通して、宿泊サービスの特性を学習する。				
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	教科書: ウィネット教材（フロントオフィス、フロントサービス）、 他、パワーポイント教材				
授業計画	1 序章・ホテルとは何か	1 フロントサービス業務①			
	2 ホテルの組織と仕事	2 フロントサービス業務②			
	3 フロントオフィス業務①	3 フロントサービス業務③			
	4 フロントオフィス業務②	4 ハウスキーピング業務①			
	5 客室タイプと料金定型	5 ハウスキーピング業務②			
	6 リザーベーション業務①	6 ハウスキーピング業務③			
	7 リザーベーション業務②	7 ハウスキーピング業務④			
	8 リザーベーション業務③	8 ハウスキーピング業務⑤			
	9 レセプション業務①	9 バトラー業務			
	10 レセプション業務②	10 コンシェルジュ業務			
	11 レセプション業務③	11 防災・防犯業務			
	12 フロントキャッシャー業務	12 施設管理業務			
	13 インフォメーション業務	13 ホテル従業員のあるべき姿と心得			
成績評価 方法	授業では学期末に試験を実施、出席状況、授業参加意欲等も評価対象とする。				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 30%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D：評価試験 30%未満、出席率 50%未満、平常点 不可				

25 年度シラバス (授業計画)

科目名	企業研究 I			科目区分	専門科目																
対象	観光総合科 観光ビジネスコース ホテル専攻			授業形式	講義																
実施期	1 年 後期	単位数	後期 : 2 単位	時間数	後期 : 30 時間																
担当	講師名 : 高橋 一男																				
	実務経験 : 有	旅行・観光業界																			
授業概要	観光業界を中心にさまざまな分野の企業・団体等の仕組み・取り組みや仕事の内容等を学ぶ																				
到達目標	観光業界を中心としたさまざまな企業・団体等を知り実践に活かす																				
検定資格	なし																				
教科書 教材	なし																				
授業計画	1. いろいろな分野の企業等を学ぶ																				
	2. 映像・画像などを参考にしながらより具体的な仕事内容を学ぶ																				
	3. インバウンド旅行・観光に関する職業や企業を知る																				
	4. 海外旅行関係の職業・企業を知る																				
成績評価 方法	学期末には評価試験を行う。また出席状況、授業参加意欲をも評価にする。評価試験を欠席した場合は0点として取り扱う																				
成績評価 基準	<table border="0"> <tr> <td>A : 評価試験 (理解度) 80%以上</td> <td>出席率90%以上</td> <td>平常点</td> <td>優</td> </tr> <tr> <td>B : 評価試験 (理解度) 60%以上</td> <td>出席率70%以上</td> <td>平常点</td> <td>良</td> </tr> <tr> <td>C : 評価試験 (理解度) 30%以上</td> <td>出席率50%以上</td> <td>平常点</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>D : 評価試験 (理解度) 30%未満</td> <td>出席率50%未満</td> <td>平常点</td> <td>不良</td> </tr> </table>					A : 評価試験 (理解度) 80%以上	出席率90%以上	平常点	優	B : 評価試験 (理解度) 60%以上	出席率70%以上	平常点	良	C : 評価試験 (理解度) 30%以上	出席率50%以上	平常点	可	D : 評価試験 (理解度) 30%未満	出席率50%未満	平常点	不良
A : 評価試験 (理解度) 80%以上	出席率90%以上	平常点	優																		
B : 評価試験 (理解度) 60%以上	出席率70%以上	平常点	良																		
C : 評価試験 (理解度) 30%以上	出席率50%以上	平常点	可																		
D : 評価試験 (理解度) 30%未満	出席率50%未満	平常点	不良																		

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	料理解説 I		科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース ホテル専攻		授業形式	講義
実施期	1 年 後期	単位数	後期 : 2 単位	時間数
担当	講師名 : 寺田 宗高			
	実務経験 : 有・無	実務経験内容 : ホテル勤務		
授業概要	ホテルテキスト料飲 I（レストラン・宴会編）を使用して、フランス料理のフルコースを主体にして、オードブル～デザート of 料理名に使用される、料理用語と調理方法・料理名を習得する。			
到達目標	フランス料理における、フルコースの料理を出す順番、調理方法の名前・料理名・料理内容を理解する。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称 :			
教科書 教材	ホテルテキスト 料飲 I レストラン・宴会編			
授業計画	1 フランス語での名前を覚え、書けるようにする。			
	2 それぞれの料理の特徴の解説			
	3 オードブルについての解説と料理名・料理の特徴			
	4 スープについての解説と料理名・料理の特徴			
	5 スープについての解説と料理名・料理の特徴			
	6 魚料理についての解説と料理名・料理の特徴			
	7 魚料理についての解説と料理名・料理の特徴			
	8 肉料理についての解説と料理名・料理の特徴			
	9 肉料理についての解説と料理名・料理の特徴			
	10 口直しについての解説と料理名・料理の特徴			
	11 ロースト料理についての解説と料理名・料理の特徴			
	12 野菜料理についての解説と料理名・料理の特徴			
	13 食事のコースからデザート of コースの間のサービス上注意事項			
	14 チーズ・デザート・フルーツの解説			
	15 コーヒー・紅茶の解説			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A : 評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B : 評価試験 60%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C : 評価試験 30%以上、出席率 50%以上、平常点 可 D : 評価試験 30%未満、出席率 50%未満、平常点 不可			

25 年度シラバス（授業計画）

科目名	F&B サービスオペレーション I			科目区分	専門科目
対象	観光総合科 観光ビジネスコース ホテル専攻			授業形式	演習
実施期	1 年 後期	単位数	後期：2 単位	時間数	後期：30 時間
担当	講師名：秋田 雅明				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：ホテル勤務経験あり			
授業概要	日本で働くための接客用語、備品名称などを学びつつ、実際に身体を動かしながら細かいサービス技術を学びます。				
到達目標	日本のレストランで即戦力として働けるサービスパーソンを目指す。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	ホテルテキスト 料飲 I レストラン・宴会編（ウィネット）1,818 円 西洋料理 料理接客サービス技法（一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会）3,718 円 実務演習：必要に応じてプリントを配布します。				
授業計画	1 F&B オペレーション授業概要説明	1 時間	1 確認テスト	2 時間	
	2 接客 7 大用語	1 時間	2 クロスの掛け方・扱い方	1 時間	
	3 お辞儀の種類と使い方	1 時間	3 実戦練習	3 時間	
	4 正しい姿勢・歩行の仕方・バランス歩行	1 時間	4 確認テスト	1 時間	
	5 復習	1 時間	5 テーブルセッティングの仕方・扱い方	1 時間	
	6 確認テスト	1 時間	6 実戦練習	8 時間	
	7 レストラン・宴会で使用する什器・備品	2 時間	7 確認テスト	2 時間	
	8 確認テスト	1 時間	8 サーバーの持ち方	1 時間	
	9 トレーの持ち方・扱い方説明	1 時間	9 実戦練習	5 時間	
	10 実戦練習（バランス歩行）	7 時間	10 チューリンの持ち方	1 時間	
	11 確認テスト	2 時間	11 実戦練習	4 時間	
	12 プレートサービス 正しい持ち方説明	1 時間	12 確認テスト	2 時間	
	13 実戦練習（料理出し・下げ）	7 時間	13 1 年時の復習・補足	2 時間	
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				